

## 令和3年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	23	学校名	大字陀高等学校
----	----	-----	---------

### 1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	大字陀特別養護老人ホームラガールリモート交流体験
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	ライフクリエイトコース2年(16名)が学校設定科目「命とくらし」における実習授業として実施。福祉社会創生の視点について学ぶ。
連携・協働相手	大字陀特別養護老人ホームラガール
地域と共有している目標・課題等	お互いを大切にし、一緒に支え合って生きていく福祉社会の創生。地域への愛着を深め地域貢献を行うとともに、活動を通して人としてのあり方や命の大切さを学ぶ。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>本校ライフクリエイトコースでは、「命を大切にする」学習を通して、地域貢献活動を行っている。今年度は、こども園での防災教育動画制作およびオリジナル絵本制作、うだ・アニマルパーク飼育実習、大字陀特別養護老人ホーム介護実習、医療用ケア帽子寄贈活動に取り組み、これらの活動は毎年継続して行われている。</p> <p>「命とくらし」の授業において、高齢者について理解を深める事前学習を行い、高齢者との交流を行った。新型コロナウイルス感染症予防のため、今年度は、施設と学校をリモートでつなぎ交流を図った。リハビリを目的としたレクリエーションを生徒が主体的に企画・立案し実践した。高齢者が施設で視聴しながら楽しくリハビリを行うことができた。</p>	

### 2. 事業の成果と課題

<p>超高齢社会に突入している現在、これからの地域を支えていく高校生が高齢者と交流し、福祉について学習する機会は大切であると考え、リモート交流を実践した。直接触れ合うことはできなかったものの、モニターを通じてお互い反応を見ながら話す、手を振る等の体験ができ、手応えを感じながら高齢者理解の学習を深めることができた。次年度は、大字陀高校最後の年となるが、今まで取り組んできた地域貢献活動を宇陀高校へとつなげていきたい。</p> <p>【参加した生徒の感想】</p> <p>高齢者の方にゆっくりと話をすればきちんと反応してくれるので、しっかりと大きな声でゆっくりと話すことを注意すればスムーズに伝わると感じた。高齢者の方が思っていたよりも積極的に参加してくれたことに驚いた。リモートでもここまで盛り上がってくれたことがよかった。</p>
--

